

平成 27 年 9 月 27 日(日)

(第 22 号)

**ワンネット通信**  
NPO ワンストップリーガルネット

発信者 理事長 大内田 治男  
E-mail [ouchidaoffice@kce.biglobe.ne.jp](mailto:ouchidaoffice@kce.biglobe.ne.jp)  
電話 0942-39-0926 FAX 0942-31-5336

## 「私のなかにある音」

ワンネット会員 豊福 秀治郎

ドアを開けるとタバコの煙でモヤがかかった様な室内に入る。

その途端、心地よいジャズが流れてきて、何かしらホットしたような気持ちになっている自分に気づく。

この様な夢を今でもよく見ることがあるが、今、仕事が忙しいなかでのひと時の休息のような気がする。多分、学生時代、ジャズ喫茶によく行っていた時の思い出が蘇ってきたのだろう。

私がジャズを聴くようになったのは中学時代。高校受験に向け夜勉強していた頃、ラジオの深夜番組で長崎放送から流れてきたサックスの音が頭のなかにずっと入ってきた時以来である。この頃はビートルズが大流行で、周りの友人たちはロック一色になっていたものだった。



高校に入ると親に無理を言ってステレオを買ってもらい、益々ジャズにのめり込んでいき、ジャズ好きの友人たちと大いに音楽談義で盛り上がった時でもあった。また、この頃は学生服の高校のボタンを大学のボタンに替え、久留米の老舗のジャズ喫茶の「ルーレット」によく行ったものだった。

大学に入ってからドラムが叩きたくなくてジャズ研へ入部したが、先輩からサックスを吹く者がいないから吹くように言われ、もともとサックスの音色が好きだったので、<sup>みようみまね</sup>見様見真似で始めた。

当時、福岡の中洲、春吉、赤坂門には多くのキャバレーがあり、バンドマンが大勢いて、有名な歌手が出演したりして大層華やかであった。バンドのサックスの人が休んだりしたときは、私も楽器を持って人数合わせにステージに立った。

今日ではどこの街でも同じであるが、福岡の夜も、あのような賑わいは無く寂しい限りである。

今でも月に何回かは、昔のバンドマン達と一緒に演奏をしているが、年齢が 66 歳から 70 歳の年寄り達で、爺さんバンドと揶揄されながら楽しんでいる。

## ワンネット理事会、総会の開催について

NPO ワンネットは、7月末日を「決算日」としています。

つきましては、平成26年度の活動状況や財務状況をまとめ、監事の指導で監査を受け、基準に沿った会計報告書の作成を行います。

そして、次の日程で、理事会、総会を開催します。会員のみなさんのご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

### 理事会

- 1、日 時 平成27年10月8日(木)16時30分～19時30分
- 2、場 所 久留米市市民活動サポートセンター「みんくる」セミナー室1
- 3、議 題 第10回通常総会への提出議案について  
今後の運営について  
その他

\* 理事への案内については、追って通知いたします。

\* 理事以外の一般会員の出席を歓迎します。

### 第10回通常総会

- 1、日 時 平成27年10月 15 日(木)17時30分～20時
  - 2、場 所 久留米市市民活動サポートセンター「みんくる」会議室1
  - 3、議 題 ① 26年度事業・収支決算報告、及び監査報告  
② 27年度事業計画・収支予算案について
- \* 会員への議案送付、出欠の確認は、追って通知いたします。  
\* 例年通り、総会に先立って「無料相談会の交通費」などの支払いを予定しています。詳しくは、総会通知書に同封します。

### ●9月の無料相談会、公証業務相談

9月の「暮らしの無料相談会」は9月9日(水)10時30分～15時、市民活動サポートセンター「みんくる」で開催。村上公証人と15人のワンネット会員が、訪れた市民の相談を受けました。

この日の参加者は、中村妙、橋口、鹿子生、大内田、松枝、平木、栗林、平野、神野、坂井、古賀信、古賀隆、宮地、田中、永田の各会員でした。なお、10月からワンネット入会予定の仲家淳彦弁護士がオブザーバーとして参加されました。

相談に訪れた人は 12 人。相談件数は合計 21 件。内容は遺言・相続 8 件、成年後見 3 件、離婚 3 件、その他 7 件(内訳は会社設立、交通事故、労働問題、不動産関連、行政相談、金銭問題など)でした。みなさん、お疲れさまでした。

次回は 10 月 14 日(水)です。受付当番は中村妙、坂井両会員です。よろしくお願いします。

また、9 月の公証業務相談は 9 月 16 日(水)14 時～16 時、市広聴相談課で実施。この日の相談員は田村公証人と執行会員で、2 人の相談を受けました。次回は、10 月 14 日(水)14 時からで、担当は村上公証人と古賀信会員です。よろしくお願いします。

#### **無料相談会チラシ、市窓口に備え付け**

無料相談会の広報については、「広報くるめ」で 2 か月に 1 回、掲載してもらっていますが、10 月、11 月開催分から本庁、総合支所、市民センターなどの窓口に開催チラシの備え付けが実現。市民への周知がさらに充実されます。なお、男女平等推進センターには、中村妙会員の支援で、チラシ備え付けが行われています。

### **●寄付のご報告**

今回、下記のとおりワンネットに対する会員からの寄付がありましたのでご報告します。ありがとうございました。(敬称略)

受取日	氏名	金額	内訳
27 年 8 月 12 日	鹿子生 盈代	2,800 円	調査事務
27 年 8 月 12 日	橋口 紀代子	2,800 円	調査事務
27 年 8 月 12 日	田中 貴教	27,000 円	受任事務
27 年 9 月 9 日	平木 正史	15,000 円	手続き事務
27 年 9 月 14 日	杉野 琢美	8,500 円	受任事務

### **●盛会だった「在住外国人によるパネルディスカッション」**

ワンネット主催「第 11 回在住外国人によるパネルディスカッション」は、9 月 5 日(土)14 時から久留米商工会館で 82 人が会場を埋めて開催されました。

4 年ぶりの開催となった今回は「10 年間、過ごした日本はどうですか」というテーマで、長く日本に住み続けてきた外国人からパネリストを選抜。「日本の昔と今、どう変わっていますか」「住みよくなっていますか、住みにくくなっていると思いますか」など、外国人らしいものの見方で主張してもらえば、日本人特有の国際感覚にプラスになるではないか・・・そんな思いも込められています。

コーディネーター・岩坂浩子さんの思いやり豊かな語り口で、パネリストや会場は自然と交流の主人公になっていきます。交流の内容は盛りだくさんでしたが、本紙は1ページ分に抜粋して掲載しました。

なお、パネリストの発言要旨や会場とのやり取り、アンケート結果などをまとめた冊子があります。希望があればお渡しします。



6人のパネリストと会場風景(久留米商工会館)

### スティーブン ウィズフォードさん(ニュージーランド、男性)

- ・国籍の違う親を持つ子は 22 歳までにそのどちらかを選択しないとイケない。何のメリットがあるのか。日本の法律は理解しているが、ハーフのアスリートたちが活躍する姿を見て、特にそう感じる。

### ニール ホールさん(英国、男性)

- ・家族がいるので、年金について知りたい。
- ・英語を教えながら日本各地で暮らしてきたが、久留米の人は内向的。もっと声を出してほしい。

### ボルツ パスカールさん(アメリカ、男性)

- ・ALT を長くしているが、将来に不安を感じている。子供ができ、将来の経済的なことが心配。
- ・カフェか英会話学校をしたいと思っているが、資金面や手続きなど、どのように進めたらいいかわからない。

### ヘーラッツ ダヤナトラさん(スリランカ、男性)

- ・スリランカ人の妻の出産の際、言葉の面で心配したが、親切な看護師さんのおかげで無事クリアした。とても感謝している。
- ・年金について、学生免除期間の分は、後から納付できるのか知りたい。

### 白尾 ジェスリンさん(フィリピン、女性)

- ・フィリピン人の友人の子どもの具合が悪くなり、かかりつけの医者に伴同した。その夜、医者から電話があり、言葉がわからないので、もう来ないでほしいと言われた。
- ・訪問介護をして働いている。次は介護福祉士を取得したいが、試験が日本語で難しい。

### 顧 紅英さん(中国、女性)

- ・中国人の女性は皆、自己主張が強いと思われる。日本人とコミュニケーションをとるのが難しいときがある。
- ・今は将来も日本で生活する予定だが、もし中国に帰ることになったとき、年金はどうなるのか不安。